

西宮市立浜脇中学校 生徒の主な感想 2

・今日のNIEは、もともとトライやるがない人たちが来るばしょだったから、もともとトライやるがなかったら、そのまま休みでも良かったと思っていました。けどもやっぱりNIEは人と人を結びつける、のりのようなそんざいだと思いました。NIEによって、顔も知らないし話したこともない人と友達になれたし、自分のためにとっても役立ったと思いました。このNIEのおかげで自分の人生はだいぶ変わって生き方も変わったから、とてもいいことだったと思いました。このNIEを人生の参考書としていたらいいと思いながら生きていきます。

・新聞を作るのに思っていた以上に質問とかを聞いておかないといけな
いと思った。しかも今日書いた以上に大きな紙に小さな字で書かないと
いけないと思うとたいへんだなと思った。事前に取材する人のことを調
べておくと話しやすくなることが分かった。あと、調べておくことでざ
つ談とかができて気楽に取材することができることがわかった。

・その人のふだん知らない夢や趣味について、深ぼりしてよく聞くこと
ができた。またたくさん質問し友達と聞き合うことで友情がもっと深ま
ったと思う。

友達のふだん知らないことではなく、自分にとって身近であたり前な
ことを聞いても話が広がって楽しかった。また一つの言葉でたくさんの
話が広がるのもおもしろかった。

またクラスで友達新聞をつくって、たくさんお話をしたい。

・この授業を受けた感想は、僕のお世話になる事業所は神戸新聞阪神総
局なので、あらかじめ新聞について学んだり、新聞づくりの練習になっ
たりして良かった。

新聞がどのようにつくられるのかが分かったり、取材をする上での大
事なことや注意点などを学べてよかった。今までは新聞は大切なもので
はないと思っていたが、この授業を通して大切さに気づけて良かった。

・仲の良い友達でも、インタビューを重ね、新聞にすることによって、
更に相手を知れるような時間をすごせたと思い、これからのNIEに活か
していきたいと思いました。

・インタビューなどをとおして、人の意外な一面やどんな気持ちで何をしているのか、新聞記者をなぜやっているのか、新聞記者の役割、新聞を作る大変さ、新聞を作るよさなど、いろんなことが知れてとてもいいけいけんになったと思う。

・今まで名前も知らなかった相手としっかり向きあって話げできた。まわりの人と協力して良い新聞がつくれたと思う。

いつも読んでいる神戸新聞がどんなふうになられるのか知ることができた。正確で役に立つ情報をはやく伝えてくれる、神戸新聞作成に関わる人たちに改めて感謝したい。

これからはもっと「友達」を大切にしようと思う。「友達」に対してどこか雑なところがあつたと思うので、反省して次につなげていきたい。

トライやるで学んだことは、自分の将来に役立つことなので参考にしたい。

・友達にたくさんの質問をしたから相手のことを前よりも深く知ることができてよかつたです。新聞の記事を考えるのは難しかつたけど、読む人にどうかけばよく伝わるかを意識しながら工夫して書けました。友達にいくつも質問することで知ることができると、仲が良い子に気になることができたらたくさん質問をして前よりもより仲が良くなつたらいいなと思ひました。仕事にはいろいろあるからトライやるにあるかなと思ひました。自分のことについても聞かれたらくわしく答えていつたので、好きなことがなぜなのかやどんなところが、など初めて考えられたので知れてよかつたです。

・もともと仲良かつた友達も、トライやるきっかけで初めて仲良くなつた友達も2人とも趣味や将来、あらたな一面を知ることができてよかつた。

新聞は、けっこう書かないといけないんだなと改めて感じました。

今日教えてもらったことはとても貴重な話だと思ひ、これからの生活にもつなげられる部分があると思ひ、しっかりと覚えておこうと思ひました。

・新聞はただの紙きれではなくて、世界のあちこちで起きている事件やこれから世界がどうなっていくかなどを分かりやすくして、これからデジタルになつていくかもしれないけど、大切だと思つた。

- 世の中には良いこと、ダメなことがたくさんあって、そのことをいち早く届けるために新聞があると思った。

もし悪いことだったら、すぐにそのことをみんなに教えて対策することもできるので、新聞が大事なことがよく分かった。

だけど最近は新聞を読むことが無くなってきてるので、ニュースやNIEを通じて知ることができると思った。

- なに気なく読んだり、NIE でとりあげたりしている新聞は、こんなに時間がかかったり、まとめたりするのは難しいということを知った。また、新聞は人と人をつなぐことが分かった。僕も人とのつながりを大切にしようと思った。

- 友達の知らない一面をしれたり、知ってもらえた。

新聞にするからむずかしかかったけど、どうしたら分かりやすく正確にかけるか、などを考えて書けた。

まとめるのがむずかしかかったが、見出しを付け、あたらしいわくを作り、そのわくに見だしの細かい内容をまとめて書くというのが大切だと感じた。

また話の内容を多くて、深くほりさげた方がその人のことをよく知れ、情ほうが多いのでその方がいいことも分かった。

- 新聞を作るのにいろいろなじゅんびをしないといけないと分かりました。

そして、今一番のニュースを新聞の右上にもってくる。二番目に注目されているニュースを左上にもってくることも知れました。この前の授業は新聞作りをしていなかったので「へえー」みたいなかんじでしたけど、今回の学校NIEで自分からたくさん質問して新聞を作り、より詳しく知れました。「ありがとうございました。」

- 新聞の見だしや題名などの書き方（構成）をすることができた。

じっさいに新聞を書いてみて、ふだんなにげなく見る新聞でも一つ一つの見だしを人が考えてインタビューするという大変さを知ることができた。大変だけど楽しいし、インタビューで聞かれたことに答えることで、その答えたことが文字にされて全国各地の人々に読まれるということがすごいと思った。

・今回の授業を受けて、知っている人でも知らない人でもどんな人にも頑張っていること知らないことや、知らない一面があると分かった。インタビューをするのはとても大変なことだけど、たくさんの良いことがあると知った。インタビューした1問が仲良くなるきっかけにもなると知った。新聞社は正確な情報を伝えたり、人権を守ったり、とても大変な仕事だと知った。インタビューをして終わりではなく、インタビューしたことを記事にまとめたりしなければいけないと知った。新聞社はいろいろな事件と関わると知った。

・今回の授業を受けて、もともと仲が良かった子でも知らないところがまだまだあり、インタビューをすることでたくさんの質問をしたり、話を聞いてその人の新しい一面を垣間見ることができました。また、その内容を自分の手で記事にまとめることで、たくさんのお話の中で何が一番重要で伝わりやすいか、などを考えながら書くことができました。

見だしを興味を引くものにしないといけないのが難しく、結局分かりにくい見だしになってしまったので、新聞を書く人たちはすごいなと思いました。私は最近、新聞を全然読んでいないので、これを機に読んでみようと思いました。

・相手の知らなかった一面や意外な一面を見つけることができた。自分から見た他人と、相手から見た他人への考え方は同じではないけれど、互いを尊重し合うことが大切だと感じた。新聞社は、この世界がより良いものになっていくために正しい情報を流している。自分はそれを正しいか見極めて、それを繋いでいく役目にならなければと思った。これからの世界は自分たちが作っていくし、自分たちの未来も自分たちが作っていくので、自分自身の未来を焦らずに、楽しく選んでゆこうと思う。

・この学校 NIE を受けて、新聞が作られるかてい、インタビューの難しさや大切さを学ぶことができました。テレビでもよく見る取材者は、どれほどの苦労があったのか、考えることができないほど大きいかと、インタビューの難しさを実感しました。新聞社は最初、ただ大切な記事をまとめて書くだけだと思っていたけど、後から、正しい情報を伝えて市民の安全を守ることとか、新聞社の仕事は大事な仕事なんだなと思いました。

- 新聞を通して色々な人と交流できたし、考えながらできたと思う。新聞の役目や良いところをととても多くしれたし、とてもいい機会になったと思った。

最後に考えさせられるような問いかけがあって考えさせられた。

- 新聞を作ることで新聞記者がどれだけ相手を思っているかがとても良く分かりました。普段なに気なく部活をしているように見える友達にインタビューをすることで、どのように努力しているか、どんな思いがあるかなど、色々分かることができました。なのでこれからもっと一緒に頑張ろうと思えるきっかけにもなるので、とても良い経験になったと思います。新聞社は色々な人に直接インタビューする役目があります。なので新聞を見る私達は、インタビューされた人の気持ちや今どのようなことがあったかが分かり、安心したり対策することができるなと感じました。今回のトライやるで相手に寄り添うことの大切さを学びました。

- 知っている気でいた友達の意外な一面など、そういうのを知ることができたし、新聞を作るのは楽しいとあらためて思った。周りの人と話し合いながら考えを伝えて考え合うことで、また周りの人と仲が深まった気がした。自分で考えるのも良いけど、他の人の考えを聞くのもすごく大切だと思った。

そして新聞を作ることが楽しいだけでなく大変であることもじっかんできた。

好きなことを聞くだけでなく、それと関連づけて内ようを深めていくのも出来た。

- 新聞のレイアウトの工夫や、見出しに本文からの抜き出しでなく、内容を理解したうえでの要約をつけるなど、新聞がどのように作られているのか、その裏側を知れて面白かったです。トライやるの新聞やパワーポイントを作るときに参考にしようと思いました。ふり返りなどをかくときに、「この内容、アタマに使いそう」「これはカタにいいかな」「これはヘソに使うのにぴったりだ」と意識していようと思います。そして、一からインタビューをして、見出しを考えて新聞を作るのってむずかしいなと思いました。だけど、その人について少し知れた気がして楽しかったです。

・新聞社の仕事は、信頼できる情報を届けることから被害者に寄り添うことまで様々あるけど、それは新聞社だけでなく、ほぼどの仕事にもいえることで、未来には必ず自分達がそれらの仕事に就いて平和な世界をつくる一人になるんだと思う。新聞をつくったのは新聞社の仕事を知るためになり、具体的で正確に伝えることの難しさ、さらには人命と人権を守ることなど、さらに難しいことを実感できた職場体験になった。新聞をつくることや、その他の仕事を通して平和に貢献することはすごく難しいけれど、今はもちろんいきなりそんな難しいことはできないし、逆に今回、「友達」を題にして新聞をつくったように今しかできないこともあるから、友達と楽しんでその中での平和を味わっておけばいいかなと思った。

・インタビューをして、分かりやすくまとめたり、文を書くのはすごく難しいなと思った。文を書くのが苦手なので上手にできなかったけど、皆でインタビューし合った時間が楽しかった。

RADWINPSの「正解」は私も大好きな曲で、歌詞の「正解など大人も知らない」という所が印象に残っています。

・トライやるが休みだったから今回これを学んで、色々なことをしり、勉強になりました。新聞の書き方を学び、新聞をかくときの大事さをよくしっかりと学びました。全然しらなかった友達のよさなど、いがいな友達のことをして、新聞のおかげでしれたなって思いました。もっともっと新聞のことをしりたいし、もっと友達のことをしていきたくと思った。だからこれからも新聞のことをしていこうと思った。

・友達にインタビューする機会は普段ないので友だちの知らない一面を知れてうれしかった。今回のNIEはいつもとはちがい、自分で最初から最後まで作ったので達成感がすごかった。見出しを少し工夫することで読み手が読みたくなったり引きつけられる効果があると分かった。新聞を作るには自分1人では成り立たないということが分かった。インタビューする人、される人、発行する人、読む人、買う人がいて、色々なたくさんの方の協力があるから成り立つんだな、と改めて感じる事ができた。次、こういう時があったら、よりよい新聞をかけるように、相手の事を少し分かった上で聞き上手になり、メモを取っておくことが大事だと分かった。

・友達にインタビューして新聞を書くことを初めてしたけど、とても難しかった。だけど、自分の耳で聞いたことを文字にしてまとめることの大切さがよく分かった。コンビニにある新聞はたくさんの方が関わって作ってくれていることもよく分かった。実際にインタビューをして、新聞にすることができて、とても学びになった。

トライやるの後にも新聞をつくるから、今回の教えていただいたことや自分で感じたことをいかしてがんばりたい。

・今回新聞を作って、私は「新聞を作るのって大変だ」と改めて思った。まず、取材される人に質問するけど、時間がなかったり、今後一生会えない人かもしれないから事前にしっかり準備してから取材するってことを知った。今日は友達同士で相手のこともじゅうぶんわかっているからあとで聞けるけど、外国の人などは最初で最後かもしれないから事前準備をしっかりする。

新聞が手に入るまで、取材する人、印さつする人、送る人とかいろんな人に手伝ってもらい、新聞ができるから、これから新聞を読む時があったら、「こんな取材をしたんだな」とか「これは〇〇だからか〜」みたいな感じで新聞になる前のことを考えてみたいと思った。

・今回、仲のいい友達のことを新聞に書きましたが、何年も一緒にいるのに最近ハマったこととか趣味をあらためて知れて、とても話が盛り上がりました。この授業をきっかけにもっと知りたいこともふえたし、逆に今知ったことをふまえて、これからの夢や趣味などがもっとふえて、自分の考え方が変わってきました。新聞の大切なことを知れたり、メモのとり方なども分かりとてもよかったです。「敬意」など今回言われたことを思いだして、これからも自分から興味をもつように新聞を見ようと思いました。